

公式記録

(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

平成23年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 三位決定戦 【 161 】

主審 署名 **梶原 彰一**

日時	2011年6月5日(日) 11:00 キックオフ				会場	神戸ユニバー記念競技場			
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	(天然芝・人工芝・クレー)	状態	良好	試合形式	70分 / 延長 20分 / PK戦有
審判	副審1 梶原 彰一		副審2 前田 晃男		記録	田村 孝次 / 田坂 昌彦		観衆	1,000人

チーム名	報徳学園高校				kick off	1	0	市立西宮高校			
選手番号	PK戦				選手番号	PK戦					
PK戦	先 O X				PK戦	先 O X					

交代 No.	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート				交代 No.
	延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	
					渡辺 有紀也 3年 1	GK	GK	1	中野 琢治 3年						
					村上 群真 3年 5	DF	DF	3	山口 駿太郎 3年						
					小西 祐樹 3年 3	DF	DF	5	帷 智行 3年						
					岡田 重信 3年 8	DF	DF	4	池上 泰平 3年						
57分					巽 夕祐 3年 2	DF	DF	2	渋谷 大山 2年					70-1分	
					神山 拓夢 3年 15	MF	MF	9	新井 友博 3年		1			50分	
45分			1		富士野 恭祐 3年 9	MF	MF	7	難波 祐輔 3年						
			1	1	野尻 志遠 3年 7	MF	MF	8	前野 俊哉 3年	3					
					松本 健太 2年 13	MF	MF	10	後藤 寛太 3年	1					
			1*		高田 直人 2年 20	FW	FW	11	指田 真宏 3年	2					
				1	磯岡 優斗 3年 10	FW	FW	14	細井 優希 1年					70-1分	
					錦 洋斗 2年 21	GK	GK	12	秋元 優介 1年						
2分					茨木 凌 3年 4	DF	MF	13	岡田 大知 2年						
					前田 恵汰 3年 6	DF	MF	6	大道 壮毅 2年		1			9分	
					菟原 昂輝 3年 14	DF	MF	16	平岡 瑞穂 2年						
9分				3	竹中 偉吹 2年 16	MF	DF	19	松尾 彬由 3年					2分	
					大野 真之介 2年 17	MF	MF	21	柳 圭佑 1年						
					山本 将太郎 2年 19	MF	FW	23	菅我部 大地 1年		1			14分	
					吉田 聖貴 3年 18	FW	DF	17	橋本 昌樹 3年						
					山岡 佑慈 2年 11	FW	FW	18	若田 茂之 3年						

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
59分	警	15	神山 拓夢	反ス	8			6	2	シュート	6	3			9	分				
62分	警	16	竹中 偉吹	反ス	7			3	4	GK	0	1			1	分				
					1			1	0	CK	0	0			0	分				
					5			3	2	直接FK	4	8			12	分				
					1			0	1	間接FK	1	0			1	分				
					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS								
					右	左	中央	S					
66分	報徳	20	高田	1-0	右	⑩	→	⑱	~	→	中央	⑳	S
分				-									
分				-									
分				-									
分				-									
分				-									
分				-									
分				-									
分				-									

戦評者 所属【 須磨友が丘 ・ 市立尼崎 】 氏名【 尾崎 ・ 近藤 】
両チーム4-4-2。立ち上がりは市西⑦難波⑩指田が軸となりボールをつなぎ、報徳は、DFラインでまわしたボールをFW⑩高田⑩磯岡がサイドのスペースを突き、攻撃の起点をつくり、お互いに主導権を握ろうとする。10分過ぎから報徳2トップの動き出しが良くチャンスを作るが、市西DFが⑤帷を中心に守り得点できない。市西は25分過ぎから落ち着きを取り戻し、⑩指田⑩後藤を中心に反撃をはじめた前半終了間際34分に右クロス⑩後藤が折り返し、⑩指田がシュートを放つがバーに嫌われ決定的なチャンスを逃してしまふ。後半はお互いに中一日の試合の疲れからか運動量が上がり、得点への気配のないまま試合が進み、延長戦が見え始めた66分に報徳が高い位置で奪ったボールを、市西のDFラインのギャップをうまくついた⑱神手が右サイドを抜けだして上げたグラウンダーのクロス⑩高田が落ち着いて決めて先制点を奪う。そこから市西は選手交代をし、反撃を試みるが、報徳の粘り強いDFを崩せずに試合終了し、報徳が近畿大会の出場権を手に入れた。

[備考]